



2018年4月26日

各 位

会社名 オルガノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 鯉江 泰行
 (コード番号 6368 東証第一部)
 問合せ先 経営統括本部 経理部長
 安藤 実
 (TEL. 03-5635-5111)
 当社の親会社 東ソー株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 山本 寿宣
 (コード番号 4042 東証第一部)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2017年10月27日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年(2018年)3月期連結業績予想数値の修正 (2017年4月1日 ~ 2018年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------------|--------|-------|-------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 78,000 | 3,050 | 2,950 | 2,000 | 173.72 |
| 今回修正予想 (B) | 79,000 | 3,800 | 3,900 | 2,700 | 234.54 |
| 増減額 (B - A) | 1,000 | 750 | 950 | 700 | |
| 増減率 (%) | 1.3 | 24.6 | 32.2 | 35.0 | |
| (ご参考)前期連結実績 (平成29年(2017年)3月期) | 81,114 | 4,114 | 4,162 | 2,731 | 237.18 |

※当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、電子産業分野において国内・中国での半導体・電子部品等の設備投資における大型案件の受注が続き工事売上が増加したことに加え、活発な生産活動を背景にメンテナンスや消耗品販売などのソリューションサービスも好調に推移した結果、前回発表予想を上回る見込みです。

また、利益面につきましては、新商品・新技術の創出を目指した研究開発投資の拡大や国内外での体制強化等によって販売費及び一般管理費が増加いたしました。前述のとおり売上高が増加したことに加え、国内外のプラント案件において取り組んだ各種の原価低減策によって利益率が改善したことから売上総利益が増加し、前回発表予想を上回る見込みです。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の理由

当社は、株主還元を重要な経営課題の一つとして考えており、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としたうえで、収益の状況を勘案した利益配分に努めることとしております。

平成30年(2018年)3月期の期末配当金につきましては、上記の方針及び前述の業績の状況を鑑み、1株当たり28円に予想を修正いたします。

なお、本件は2018年6月下旬開催予定の第73回定時株主総会に付議する予定であります。

(2) 修正の内容

| | 年間配当金 | | |
|---------------------------|--------|--------------|----------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (2017年5月10日発表) | 円 銭 | 円 銭 25.00 | 円 銭 — |
| 今回修正予想 | | 28.00 | — |
| 当期実績 | 5.00 | | |
| 前期実績 (平成29年(2017年)3月期) | 5.00 | 6.00 | 11.00 |

※当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年(2018年)3月期第2四半期末の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年(2018年)3月期(予想)の1株当たり年間配当金は53円となります。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上